

期待される佐賀の6次産業化!

佐賀6次産業化人材育成研修会

平成27年6月3日、佐賀県佐賀市内にて、佐賀6次産業化サポートセンター（公益財団法人佐賀県地域産業支援センター）が主催する「6次産業化人材育成研修会」が開催されました。

佐賀県では、6月を「6次産業化推進強化月間」と位置づけ様々な取組を実施しており、今回の研修会は、その一環として、県内における6次産業化の普及促進を目的に開催されたものです。

佐賀県は、平成26年より新産業・基礎科学課内に、専任組織の「6次産業化推進担当」を新設し、6次産業化に関する情報提供、人材育成、事業化支援等に取り組んでいます。

研修会では、佐賀6次産業化サポートセンターが行う6次産業化の推進に向けた各種事業の紹介、4月に施行された食品の機能性表示制度の概要説明の後、本誌編集人奥野による「今こそ必要とされる6次産業化、実践例から見える可能性」をテーマとした講演が行われました。



講演は、本誌が取材してきた全国の6次産業化の事例を踏まえたもので、6次産業化を成功させる上で備えるべき力や実践的なノウハウを紹介するものでした。

当日の来場者は、県内農林漁業者、商



本誌編集人の奥野による講演



今回の研修会を企画した、佐賀県地域産業支援センター堤さん、佐賀県新産業・基礎科学課荘山さん、柘植さん(写真左から)

工業者、支援機関など97名で、講演後は、「失敗例も紹介して欲しい」「第1次産業事業者の組織作り（法人化のあり方など）へのアドバイスを」など活発な意見が寄せられました。

編集後記

去る6月19日、福島県で6次産業化に取り組んでいる、田村市都路(みやこじ)町商工会会長渡辺辰夫さんにお会いした。

田村市は平成26年4月1日に避難指示区域が解除され、徐々に住民の帰還が始まっているが、従来の農業を再開する農家は少ないという。その中で渡辺さんは、震災後何とか残った養鶏を活用して、農業再生から地域産業の復興を目指している。

渡辺さんの取組はシンプルだ。「自慢の卵でプリンを作る」「できるだけ多くの人に関わって作る」「出来た商品は、まず自分たちで売る」。まさに6次産業化である。

商工会を中心に「都路町6次化事業推進実行委員会」を発足させ、地元の高校と連携し、郡山市内の調理専門学校の協力や県の支援も受けながら事業が始まった。

「帰還する人たちや高校生の就業の場を確保することが重要。それを農業が軸になって進める。一歩ずつだが、しっかり踏み出す」。渡辺さんも移転を余儀なくされた都路町の一商店主だ。

編集長 奥野 俊志

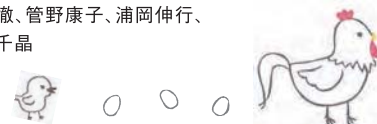
6次産業化フリーペーパー「第6チャンネル」vol.13 (2015年9月発行)

編集人：奥野俊志

編集・取材：奥野俊志、河原木徹、菅野康子、浦岡伸行、金森真粧美、石川千晶

デザイン：安野真由美

制作協力：平成ソフト



第6次産業化ポータルサイト 第6チャンネル

www.6-ch.jp/

6次産業化の取組を支援するポータルサイトとして、これからも情報発信していきます!



フリーペーパーのご案内

本誌のバックナンバーをダウンロードできます。是非ご覧ください。

▼フリーペーパーのダウンロードはこちらから
https://www.6-ch.jp/fp_contact/

▼メルマガ会員登録はこちらから
<https://www.6-ch.jp/melmaga/>

▼農林水産省食料産業局フェイスブック
<https://www.facebook.com/maff.shokusan>

■バックナンバーの印刷物をご希望の方は、第6チャンネル(Webサイト)のTOPページ「お問合せ」より、「詳細」欄に「フリーペーパー希望」とご明記の上、ご希望の号数と送付先、郵便番号をご連絡下さい。送料実費にてお送りいたします。なお、数に限りがございますので、在庫が無いバックナンバーにつきましては、印刷費、送料実費にてご提供いたしますので、ご相談下さい。

